

令和6年度 江戸川区立平井西小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> やさしい心 しょうぶな体 かんがえる力 	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	○子供一人一人が輝き、生涯教育の基礎づくりが発揮される学校 ○自己肯定感、自己有用感をもち、夢と希望をもつ児童 ○時代の変化やキャリアステージに応じて自らの資質能力を高めることのできる教師
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> 「Study Every Day!（江戸川っ子study week!）」朝学習と家庭学習で東京ベーシックドリル年6回実施により、個に応じた継続的な学習支援の実施につなげることができた。 外遊びの励行や運動量の確保等を行い、体力向上につなげることができた。 	課題	<ul style="list-style-type: none"> 教えるから育てるを念頭に子供たちの主体的な学びを推進していく。 特別な支援を要する児童への支援や関係諸機関との連携をさらに深め、学校体制を整備していく。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A~D)		「中間」学校関係者評価(A~D)		「年度末」自己（学校）評価(A~D)		「年度末」学校関係者評価(A~D)		次年度に向けた改善案		
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント			
学力の向上	○授業改善の推進と基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に對しての学校の組織的な対応による学力を身に付ける取組の実施	<ul style="list-style-type: none"> 「Study Every Day!（江戸川っ子study week!）」朝学習と家庭学習で東京ベーシックドリル国語・算数の実施。 学習の振り返りができるように授業後に板書をTeamsに投稿する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童へのアンケート結果で、80%以上の児童が学力を高めようとしていると回答 1日1回は、板書をTeamsに投稿する。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「Study Every Day!（江戸川っ子study week!）」では取組優秀児童を表彰し、学習意欲を高め取組めるようにしている。 Teamsに板書や活動の様子を投稿し、学習の振り返りができるようにしている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 優秀児童を全校朝会で発表して表彰することは児童の励みになります。 学校での学習の様子が分かることはよいと思います。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 「Study Every Day!（江戸川っ子study week!）」では毎週出される課題を85%児童が実施することができた。 Teamsを活用して、学習の振り返りができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本の定着を引き続きしてください。 家で授業で書かれた黒板が見られると復習するときによいですね。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断シートの結果分析から課題となっている問題に取り組みられるようにする。 学習の様子や板書が毎日投稿できるようにする。
	○読書科の更なる充実	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通しての本に親しむための取組の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学期1回以上実施 	B	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 1学期はあじさい読書月間を2学期はもみじ月間を実施した。3学期は読書前後を実施していく。 週1回、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを実施している。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 読書する児童が増えていくとよいです。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 1学期で計画していた読書月間の取組を全て実施できた。 各学年、読書科に取組み、探究活動したことを発表することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 図書ボランティアや団体図書への選書の取組みで読書環境を整えられてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書科の取組が、より多くの保護者地域の方に周知できるようにホームページ等で発信する。 		
	○基礎体力の向上と望ましい生活習慣の育成	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間の外遊び、持久走、なわとび月間、長縄集会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 児童へのアンケート結果で、90%以上が運動に親しもうとしていると回答 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 2学期になわとび出前授業を実施した。なわとびへの意欲が高まり、外遊びで取り組む児童が増えた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間の外遊びで体を動かす児童が増えたことはいいですね。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 1学期実施した体力調査の結果が江戸川区と東京都の平均値を上回り、体力向上が見られた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 体力向上が見られ、引き続き、なわとび等の学校の取組や外遊びの励行を続けてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力調査の結果を分析し、課題となっている体力を高められるように手立てを考えていく。 		
体力の向上	○食に関する興味・関心を高める取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> 体験的な食育活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年、年1回実施 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 各学年が年間計画通りに食育活動を実施している。児童の食育教育への関心が高まっている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの学年に応じた内容の授業を行っていいですね。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 年間に計画していた食に関する授業を全て実施することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 給食試食会を年2回実施し、給食のことや学校の食育に関する授業についてよく分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校での取り組みが、保護者や地域の方に広く伝わるようにホームページ等で発信していく。 		
	○歯のむし歯予防の徹底	<ul style="list-style-type: none"> うがい、手洗い、給食食後の歯みがきの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 児童へのアンケート結果で、80%以上が望ましい生活習慣を身につけようとしていると回答 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 週1回のフッ化物洗口と毎日の歯磨きを実施。作成した動画に合わせて歯を磨くことで定着を図っている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭でも歯を磨く習慣が身に付き、むし歯がなくなるとよいです。 	A	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物洗口や歯磨きの取組が児童に定着してきている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物洗口や毎日の歯磨き指導、年2回の校医による歯の検診と様々な取組が成果となってくるとよいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して、健康な歯の取組を行っていき、歯磨きの習慣が根付くようにしていく。 		
	○相手の立場や気持ちを理解する心を育む取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材や施設等を生かした学習や体験交流学習、特別活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校共有アンケートの「児童は、思いやりをもって行動している。」の問いに肯定的回答が95%以上。 	B	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から5年生が重田区社会福祉会を訪れ、皮鞋工業についてSDGsと関連付けて学習した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 中川の反対側で近くであり、においなどが流れてくるので何があるのあろうと児童も思っていたと思います。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域人材や施設を生かした授業を開発したり、継続して実施したりすることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生活児童にとって地域のことを知るよい機会となり、うれしく思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 開発した教材について引き続き、授業で実施できるように年間計画に記し、引き続きしていく。 		
教育の推進 共生社会の実現に向けた	○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> 常時、特別支援教室専門員との連絡・相談体制の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間10回の校内委員会の実施。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 当初計画通りに実施している。委員会で情報共有し、学校体制や外部機関との連携等の力量を決め、組織的な取組みができるようにしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教室がどのような学習活動をするかが分かりました。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内委員会を計画通りに実施し、校内体制や外部機関と連携体制を築くことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人一人に合った支援ができるように進めていることが分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導がさらに充実するようしていく。 		
	○エンカレッジルームの活用促進															
	○あいさつと正しい言葉遣いの推奨	<ul style="list-style-type: none"> 学級輪番制で行うあいさつ当番の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校共有アンケートの「児童は、だれに対しても、元氣よく気持ちのよいあいさつができる。」の問いに肯定的回答が95%以上。 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 学級輪番制で行う玄関でのあいさつを実施している。校舎内ではあいさつする児童が増えている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> あいさつは、校外になるとあまりできていない印象があります。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学級輪番制で行うあいさつを計画通りに実施できた。大人へのあいさつもすすんでできるようになってほしい。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 旗振りで横断歩道に立っているときにあいさつをしてくる子が少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 校外や大人へのあいさつができるようにしていく。 		
不登校・いじめ対応の充実	○教育相談の強化	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートや学校に関するアンケートを学期ごとに実施。「Hyper-Q」を実施し、児童の表情を知ると共に一人一人に応じた支援を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校共有アンケートの「教員は、自覚から様々な児童の表情を読み取り、認め、助言や指導で接している。」の問いに肯定的回答が90%以上。 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ふれあい月間として6月と11月にアンケートを実施し、児童からの聞き取りをし早期解決に努めている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> いじめについて、早期解決できるようにしていることが分かりました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 年3回のふれあい月間を実施し、児童からの聞き取りをすることができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> いじめがあった時の対応について学校が組織として対応していることが分かりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 未然防止の視点に立ち、子供たちが楽しく安心して過ごせるようにしていく。 		
	○規則正しい生活習慣の推奨	<ul style="list-style-type: none"> 西っ子家庭ルール週間を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎学期 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 長期休み後に計画通りに2学期まで実施できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムが乱れる長期休み後に行うことはリズムを戻すのにより取り組みだと思ふ。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 年3回、計画通りに実施することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活ができるように、引き続き、家庭と学校が協力して取り組んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちが、主体となって規則正しい生活を身に付けられるようにしていく 		
	○学校ホームページ・学校公開の充実	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやTeams、教育活動の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 毎日更新 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページやTeamsの更新を毎日行っている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページでは、給食の記事に載りが見られます。Teamsで学習の様子を上げるようにホームページにも上げてほしいです。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 児童の学習活動の様子が、Teamsに投稿しているが、ホームページの投稿が少なかった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページでは、給食の献立は毎日上がっているのに、子供たちの様子も毎日載せてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページにも学習活動の様子が投稿できるようにする。 		
学校（園）の地域社会に開かれたの実現	○教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保護者、地域、学校評議員への教育アンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 中間評価と年度末における評価を基にした教育課程の改善 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 運動会や学校公開後に教育アンケートを取り、保護者や地域の声を聞き、教育課程の改善を図っている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 行事のことに感想やアンケートを取り、保護者や地域の意見をまとめていよいと思う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 教育アンケートを受け、改善できるように取り組むことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や地域の意見を聞き、改善してくれてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、保護者や地域の方の意見に耳を傾け、環境を整えられるようにしていく。 		
	○特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 集会等の時間を活用したたて割り班活動の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> たて割り班活動月1回実施 年間を通して、「ウキウキタイム」の実施 	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 集会等で、たて割り班活動を実施し、充実を図っている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> たて割り班活動が月1回になり異学年と交流する活動が増えてよかったです。 	A	<ul style="list-style-type: none"> たて割り班活動が実施でき、異学年との交流が深められた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍前のように、たて割り班活動が増えてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容を振り返り、よりよい活動にしてい学年交流がさらに深まるようにしていく。 		
	○教員研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 教員の組織的な育成 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員年2回の授業公開 	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が、1学期に1回目の授業公開を実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 先生方で授業を見合い、授業力向上に努めていることが分かりました。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 全教員が年2回の授業公開をし、参観した教員と意見交換し、授業力向上に努めた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 授業力向上に向けて、限られた時間の中で取り組んでいることが分かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちのために引き続き、指導力向上に向けて計画的に取り組んでいく。 		